

## 指定されるソマリアに対する武器禁輸措置等に違反した者等

1. アル・シャバーブ（別名：(a)アル・シャバブ、(b)シャバーブ、(c)ザ・ユース、(d)ムジャヒディン・アル・シャバーブ・ムーブメント、(e)ムジャヒディーン・ユース・ムーブメント、(f)ムジャヒディン・ユース・ムーブメント、(g)エム・ワイ・エム、(h)ハラカト・シャバブ・アル・ムジャヒディン、(i)ヒズブル・シャバーブ、(j)ヒズブル・シャバーブ、(k)アル・シャバーブ・アル・イスラミヤ、(l)ユース・ウィング、(m)アル・シャバーブ・アルイスラーム、(n)アル・シャバーブ・アルジハード、(o)ザ・ユニティ・オブ・イスラミック・ユース、(p)ハラカト・アル・シャバーブ・アルムジャーヒディーン、(q)ハラカトウル・シャバーブ・アル・ムジャーヒディーン、(r)ムジャーヒディーン・ユース・ムーブメント)

AL-SHABAAB (a.k.a.: (a) AL-SHABAB (b) SHABAAB (c) THE YOUTH (d) MUJAHIDIN AL-SHABAAB MOVEMENT (e) MUJAHIDEEN YOUTH MOVEMENT (f) MUJAHIDIN YOUTH MOVEMENT (g) MYM (h) HAKARAT SHABAB AL-MUJAHIDIN (i) HIZBUL SHABAAB (j) HISB ' UL SHABAAB (k) AL-SHABAAB AL-ISLAMIYA (l) YOUTH WING (m) AL-SHABAAB AL-ISLAAM (n) AL-SHABAAB AL-JIHAAD (o) THE UNITY OF ISLAMIC YOUTH (p) HAKARAT AL-SHABAAB AL-MUJAAHIDIIN (q) HAKARATUL SHABAAB AL MUJAAHIDIIN (r) MUJAAHIDIIN YOUTH MOVEMENT)

### 活動地域：ソマリア

アル・シャバーブは、2008年8月18日のジブチ合意又は政治的プロセスを脅かす行動、及び、ソマリア暫定連邦機構（TFIS）、アフリカ連合ソマリア・ミッション（AMISOM）、又はソマリアに関連する他の国際的な平和維持活動を脅かす行動にとどまらず、直接的又は間接的にソマリアの平和、安全、安定を脅かす行動に関与してきた。

アル・シャバーブは、また、ソマリアへの人道支援の提供、あるいはソマリアにおける人道支援へのアクセスやその分配を妨害してきた。

ソマリアに関する決議第751号（1992年）に従って設立された安全保障理事会の委員会の議長による2009年7月29日の安全保障理事会に対する声明によると、アル・シャバーブ及びヒズブル・イスラムは、暫定連邦「政府」（TFG）及びAMISOMに対する攻撃の犯行を繰り返し公に認めている。また、アル・シャバーブは、TFG職員の殺害の犯行を認めており、2009年7月19日には、ベイ地方及びバクール地方において、決議第1844号（2008年）の主文8（c）に違反し、UNPOS、UNSS及びUNDPの現地事務所を襲撃し、閉鎖させている。また、アル・シャバーブは、ソマリアにおける人道支援へのアクセスやその分配を繰り返し妨害してきた。

2009年7月20日付のソマリア情勢に関する国連事務総長の国連安保理報告書は、ソマリアにおけるアル・シャバーブの活動に関係する以下のパラグラフを含んでいる。

アル・シャバーブ等の反乱集団は、民間企業から金銭を脅し取り、少年兵を含む若年層をモ

ガディシュの「政府」に対する攻撃に加担させるためにリクルートしたと言われている。アル・シャバーブは、組織内幹部に外国人戦闘員がいることを認め、ソマリア政府駆逐のため、モガディシュでアル・カーイダと協力していると公言している。その多くがパキスタン及びアフガニスタン出身と言われる外国人戦闘員は良く訓練され、そして戦闘経験があるように見られる。彼らは、頭巾を被り、モガディシュや近隣地域において、政府軍に対する攻撃活動を指揮していることが観察されている。

アル・シャバーブは、注意深く選ばれた効果の大きい暗殺及び、何名かは殺害されることとなった氏族の長老の拘束に反映されているように、ソマリア国民を支配し脅迫するための戦略を強化している。2009年6月19日、オマール・ハシ・アデン「国家治安大臣」がベレトウウェインにおいて大規模な自爆車両爆発で殺害された。この攻撃で30名以上が殺害され、国際社会及びソマリア社会の幅広い横断層から強く非難された。

2008年12月の国連安全保障理事会ソマリア・モニタリング・グループ報告書(2008/769)によれば、アル・シャバーブは過去数年間、以下を含むソマリア内における様々な攻撃の責任を負っている。

- 2008年9月の世界食糧計画に勤務していたソマリア人運転手の殺害及び斬首
- 2008年2月6日に死者20名、負傷者100名以上を出したプントランドの市場での爆発
- 2006年の国会議員選挙の混乱を意図したソマリランドにおける一連の爆弾攻撃及び標的を定めた殺害
- 2003年及び2004年の複数の外国人援助従事者の殺害

報告によれば、アル・シャバーブは、2009年7月20日、ソマリアにおける国連施設を襲撃し、アル・シャバーブ支配地域からの国連3機関の追放を宣告した。これに加えて、2009年7月11日から12日、ソマリア暫定連邦政府軍は、アル・シャバーブ及びヒズブル・イスラムの兵士と戦い、この結果60名以上が死亡した。7月11日の戦闘では、アル・シャバーブは、ヴィラ・ソマリアの中に4発の迫撃砲を撃ち、この結果アフリカ連合ソマリア・ミッション(AMISOM)兵士3名が死亡、8名が負傷した。

2009年2月22日の英国放送協会の記事によれば、アル・シャバーブは、モガディシュのアフリカ連合の軍事基地に対する自爆車両攻撃の犯行を認めている。同記事によれば、アフリカ連合は、平和維持部隊隊員11名の死亡、他15名の負傷を確認している。

また、2009年7月14日のロイターの記事によれば、アル・シャバーブ戦闘員は、ソマリア及びアフリカ連合軍に対するゲリラ的攻撃を2009年に増加させている。

2009年7月10日のボイス・オブ・アメリカの記事によれば、アル・シャバーブは2009年5月、ソマリア「政府軍」に対する攻撃に関与した。

また、2009年2月27日の外交問題評議会のウェブサイトに掲載された記事によれば、アル・シャバーブは、2006年以来、ソマリア暫定「政府」及びそのエチオピアの支援者に対する反乱に報酬を与えている。アル・シャバーブは、AU平和維持部隊の展開以来、右部隊に対する破壊的攻撃により、11名のブルンジ人兵士を殺害しており、また、アル・シャバーブは激しい戦闘を行うことで、モガディシュにおいて、少なくとも15名を殺害した

と表明している。

2 . ヤシン・アリ・バイナフ ( 別名 : (a)アリ、ヤシン・バイナフ、(b)アリ、ヤシン・モハメド、(c)バイナフ、ヤシン、(d)バイナフ、ヤッシン、(e)バイナフ、ヤシーン・カリ、(f)ベーナフ、ヤシン、(g)ベーナフ、ヤッシン、(h)ベーナフ、ヤシン、(i)ベーナフ、ヤッシン、(j)ベナフ、ヤシン、(k)ベナフ、ヤッシン、(l)ベナフ、ヤッシン、(m)ベイナフ、ヤシン、(n)ピナフ、ヤッシン、(o)カリ、ヤシーン・バイナフ )

Yasin Ali Baynah (a.k.a.:(a)ALI, Yasin Baynah (b)ALI, Yassin Mohamed (c)BAYNAH, Yasin (d) BAYNAH, Yassin (e)BAYNAX, Yasiin Cali (f)BEENAH, Yasin (g)BEENAH, Yassin (h)BEENAX, Yasin (i)BEENAX, Yassin (j)BENAH, Yasin (k)BENAH, Yassin (l)BENAX, Yassin (m)BEYNAH, Yasin (n) BINAH, Yassin (o)CALI, Yasiin Baynax)

活動地域 : スウェーデン ( リンケビー、ストックホルム )、ソマリア ( モガディシュ )

生年月日 : 1966年頃

国籍 : ソマリア

別の国籍 : スウェーデン

ヤシン・アリ・バイナフは、暫定連邦「政府」(TFG)やアフリカ連合ソマリア・ミッション(AMISOM)に対する攻撃を扇動した。同人は、また、ジブチ合意の拒絶や、モガディシュにおけるTFG及びAMISOMへの攻撃を含む、ソマリアの平和と安定を脅かす行動に積極的に関与しているソマリア再解放同盟及びヒズブル・イスラムの代わりに、支援を動員し資金集めを行っている。

3 . ハッサン・ダヒル・アウェイ ( 別名 : (a)アリ、シェイク・ハッサン・ダヒル・アウェイ、(b)アウェス、ハッサン・ダヒル、(c)アウェス、シャイク・ハッサン・ダヒル、(d)アウェイエス、ハッサン・ダヒル、(e)アウェイス、アフメド・ダヒル、(f)アウェイス、シェイク、(g)アウェイス、シェイク・ハッサン・ダヒル、(h)ダヒル、アウェイス・ハッサン、(i)イブラヒム、モハンメド・ハッサン、(j)ウワイス、ハッサン・ターヒル、(k)ウワイス、ハッサン・ターヒル、(l)“ハッサン、シェイク” )

Hassan Dahir Aweys (a.k.a.:(a)ALI, Sheikh Hassan Dahir Aweys (b)AWES, Hassan Dahir (c)AWES, Shaykh Hassan Dahir (d)AWEYES, Hassen Dahir (e)AWEYS, Ahmed Dahir (f)AWEYS, Sheikh (g)AWEYS, Sheikh Hassan Dahir (h)DAHIR, Aweys Hassan (i)IBRAHIM, Mohammed Hassan (j)OAIS, Hassan Tahir (k)UWAYS, Hassan Tahir (l)"HASSAN, Sheikh")

活動地域 : ソマリア、エリトリア

生年月日：1935年

市民権：ソマリア

国籍：ソマリア

ハッサン・ダヒル・アウエイスは、一般的かつ完全な武器禁輸の度重なる違反並びに／又はジブチ和平合意、暫定連邦「政府」(TFG)及びアフリカ連合ソマリア・ミッション(AMISOM)軍を脅かす行為の責任を有する様々な反体制武装集団の高位の政治的及びイデオロギー的指導者として活動している。2006年6月から2007年9月の間、アウエイスは、イスラム法廷連合の中央委員会議長を務め、2008年7月、同人は、ソマリア再解放同盟ソマリア - アスマラ派議長就任を宣言し、2009年5月、TFGに対抗する集団の同盟であるヒズブル・イスラムの議長に任命された。これらの立場で、アウエイスの言動及び行動は、TFGを分裂させ、AMISOMを武力でソマリアから追放しようとする絶対的かつ継続的な意図を示した。

同人は、外務省告示平成22年第260号別表(アル・カーイダ、タリバーン及び関連個人・団体に関する国連安保理決議第1267号、同第1333号及び同第1390号に基づく資産凍結等の措置の対象リスト)の268と同一人物である。

4. ハッサン・アブドゥッラー・ヘルシー・アル・トゥルキー (別名：(a)アル・トゥルキー、ハッサン、(b)トゥルキー、ハッサン、(c)トゥルキー、ハッサン・アブドゥッラーヒ・ヘルシー、(d)トゥルキー、シェイク・ハッサン、(e)ヒルシー、ハッサン・カブドゥッラーヒ、(f)ヒルシー、ハッサン・カブドゥッラー)

Hassan Abdullah Hersi Al-Turki (a.k.a.: (a)AL-TURKI, Hassan (b)TURKI, Hassan (c)TURKI, Hassan Abdillahi Hersi (d)TURKI, Sheikh Hassan (e)XIRSI, Xasan Cabdilaahi (f)XIRSI, Xasan Cabdulle)

活動地域：ソマリア

生年月日：1944年頃

出生地：エチオピア・オガデン地方

国籍：ソマリア

ハッサン・アブドゥッラー・ヘルシー・アル・トゥルキーは1990年代半ば以降、武装集団の高位の指導者の一人であり、多くの武器禁輸違反に関与してきた。2006年、アル・

トゥルキーは、イスラム法廷連合によるモガディシュ奪取に軍隊を提供し、アル・シャバーブと同盟を結ぶ同集団の軍事指導者として頭角を現した。2006年以降、アル・トゥルキーは、自身の支配下にある区域をアル・シャバーブを含む様々な武装反対勢力の訓練のために提供している。2007年9月、アル・トゥルキーは、自身の指導下での軍事訓練を映し出すアルジャジーラのニュースのビデオに登場した。

同人は、外務省告示平成22年第260号別表(アル・カーイダ、タリバーン及び関連個人・団体に関する国連安保理決議第1267号、同第1333号及び同第1390号に基づく資産凍結等の措置の対象リスト)の444と同一人物である。

5. アフメド・アブディ・アウ・モハメド(別名:(a)アブ・ズベイル、ムクタル・アブディラフマン、(b)アブズバイル、ムクタル・アブドゥルラヒム、(c)アウ・モハンメド、アフメド・アブディ、(d)アウ・モハムド、アフメド・アブディ、(e)“ゴダネ”、(f)“ゴダニ”、(g)“ムクタル、シャイク”、(h)“ズベイル、アブ”)

Ahmed Abdi aw-Mohamed (a.k.a.:(a)ABU ZUBEYR, Muktar Abdirahman (b)ABUZUBAIR, Muktar Abdulrahim (c)AW MOHAMMED, Ahmed Abdi (d)AW-MOHAMUD, Ahmed Abdi (e)"GODANE" (f)"GODANI" (g) "MUKHTAR, Shaykh" (h)"ZUBEYR, Abu")

生年月日：1977年7月10日

出生地：ソマリア・ハルゲイサ

国籍：ソマリア

アフメド・アブディ・アウ・モハメドはアル・シャバーブの高位の指導者で、2007年12月に組織の軍司令官(emir)に公に任命された。同人は、ソマリア全域にわたり、アル・シャバーブの作戦を統率している。アウ・モハメドは、ジブチ和平合意を外国による陰謀だと非難し、また、2009年5月のソマリアのメディアへの音声収録においては、モガディシュにおける最近の戦闘に、同人の部隊が関与していたことを認めた。

6. フアド・モハメド・カラフ(別名:(a)フアド・モハメド・カリフ、(b)フアド・モハメド・カラフ、(c)フアド・モハンメド・カラフ、(d)フアド・モハメド・カラフ、(e)フアド・モハンメド・カリフ、(f)フアド・カラフ、(g)フアド・シヨンガレ、(h)フアド・シヨンゴレ、(i)フアド・シャンゴレ、(j)フアド・ソンガレ、(k)フオウアド・シヨンガレ、(l)フアド・ムハンマド・カラフ・シヨンゴレ)

Fuad Mohamed Khalaf (a.k.a.:(a)Fuad Mohamed Khalif (b)Fuad Mohamed Qalaf (c)Fuad Mohammed Kalaf (d)Fuad Mohamed Kalaf (e)Fuad Mohammed Khalif (f)Fuad Khalaf (g)Fuad Shongale (h)Fuad Shongole (i)Fuad Shangole (j)Fuad Songale (k)Fouad Shongale (l)Fuad Muhammad Khalaf Shongole)

国籍：ソマリア

別の国籍：スウェーデン

活動地域：ソマリア（モガディシュ）

別の活動地域：ソマリア

カラフは、アル・シャバーブに対する資金援助を行っており、2008年5月、同人は、ソマリアのキスマヨのモスクで2度にわたり、アル・シャバーブのための資金集めの催しを行った。2008年4月、カラフ及び他の数名は、モガディシュにあるエチオピア軍基地及びソマリア暫定連邦「政府」の部隊に対し、爆発装置のついた車両による攻撃を指示した。2008年5月、カラフ及び戦闘員集団は、モガディシュの警察署を攻撃及び占拠し、複数の兵士を殺害及び負傷させた。

7. バシル・モハメド・マハムード（別名：(a)バシル・モハメド・マフムード、(b)バシル・マフムド・モハンメド、(c)バシル・モハメド・モハムド、(d)バシル・モハメド・モハムード、(e)バシル・ヤレ、(f)バシル・コルガブ、(g)グレ・ガブ、(h)“アブ・ムスカブ”、(i)“コルガブ”）

Bashir Mohamed Mahamoud (a.k.a.: (a) Bashir Mohamed Mahmoud (b) Bashir Mahmud Mohammed (c) Bashir Mohamed Mohamud (d) Bashir Mohamed Mohamoud (e) Bashir Yare (f) Bashir Qorgab (g) Gure Gap (h) "Abu Muscab" (i) "Qorgab")

生年月日：1979年から1982年頃、または1982年

国籍：ソマリア

活動地域：ソマリア（モガディシュ）

バシル・モハメド・マハムードは、アル・シャバーブの軍司令官である。また、マハムードは、2008年の後半時点で、アル・シャバーブの指導者評議会の約10名のメンバー内の一人である。マハムード及び共謀者は、2009年6月10日のモガディシュにおけるソマリア暫定連邦「政府」に対する迫撃砲攻撃を担当した。

8. モハメド・サイード（別名：(a)“アトム”、(b)モハメド・サイード・アトム、(c)モハメド・シアド・アトム）

Mohamed Sa'id (a.k.a.: (a) "Atom" (b) Mohamed Sa'id Atom (c) Mohamed Siad Atom)

生年月日：1966年頃

出生地：ソマリア・ガルガラ

活動地域：ソマリア（ガルガラ）

別の活動地域：ソマリア（バドハン）

モハメド・サイド・“アトム”は、ソマリアの平和、安全、及び安定を脅かす行動に関与した。同人は、武器禁輸に違反し、武器若しくは関連物資又は軍事活動に関連した資金提供及び資金援助を含む助言、訓練若しくは援助等を、直接的または間接的に、ソマリアに供給、販売または移送していた。アトムは、プントランド地域におけるアル・シャバーブの作戦にとって、武器及び弾薬の主要な供給者の一人と見なされている。同人は、2006年ソマリア北部の東サナアグ地方で組織された民兵組織の指導者とされている。同民兵組織は、約250名の戦闘員で構成され、誘拐、海賊、テロリズムに関与し、武器禁輸措置に反して自らの武器輸入を行っている。アトムは、第一の拠点をガルガラ、第二の拠点をバドハンとして、この地域における主要な軍事的存在として自らの軍隊を設立した。複数の情報によれば、アトムは、アル・シャバーブと連携し、アル・シャバーブの指導者ファアド・モハメド・カラフから指示を受けている可能性があると言われる。

さらにアトムは、ソマリアへの武器密輸に関与していると言われる。複数の情報は、同人の部隊が、イエメン及びエリトリアから武器や装備品を受領していることを示唆している。2008年12月の報告によると、2008年初頭、ピックアップトラック2台が満杯になるほどの小型武器、弾薬、ロケット砲が、4週間の間に6回輸送されたことが目撃されている。武器取引に詳しいボサソのビジネスマンによると、アトムの船荷は武器市場には流れず、同人の軍隊での使用のために保管されるか、アル・シャバーブが活動するソマリア南部に移送されているものと見られる。

アトムの部隊は、ドイツ人援助関係者1名の誘拐、ボサソ近隣でのソマリア人2名の誘拐、死者20名、負傷者100名以上を出した2008年2月5日のボサソにおけるエチオピア人移住者に対する爆弾攻撃に関与したとされている。また、アトムの民兵組織は、2008年6月の海賊によるドイツ人夫妻の誘拐について二次的役割を果たした可能性がある。

9. ファレス・モハンメド・マナア（別名：(a)ファリス・マナア、(b)ファレス・モハンメド・マナア）

Fares Mohammed Mana'a (a.k.a.:(a)Faris Mana'a (b)Fares Mohammed Manaa)

生年月日：1965年2月8日

出生地：イエメン・サダー

パスポート番号：00514146 発行地：イエメン・サナア

IDカード番号：1417576； 発行地：イエメン・アルアマナ 発行日：1996年1月7日

フェレス・モハンメド・マナアは、武器禁輸に違反し、ソマリアに武器又は関連物資を、直接的又は間接的に、供給、販売または移送してきた。マナアは、武器売人として知られている。イエメンでは人口を上回る数の武器が流入しているとされるが、2009年10月、イエメン政府は、国内の武器流通を取り締まる努力の一環として、同人を筆頭とする武器商人のブラックリストを公表した。イエメン事情に詳しいコメンテーターで、半年毎の国別報告書の執筆者であり、またジェインズ・インテリジェンス・グループにも貢献する米国人ジャーナリストによると、「ファリス・マナアは主要な武器売人であり、そのことはよく知られている」とされる。2007年12月のイエメン・タイムズの記事は、同人を「武器商人シャイク・フェレス・マハメド・マナア」と書いている。また、2008年1月のイエメン・タイムズの記事は、同人を「武器貿易人シャイク・ファリス・マナア」と書いている。

2008年半ば現在、イエメンは、アフリカの角地域、特にソマリアへの小型船による不法武器貿易の中核として機能し続けている。未確認情報によれば、ファリス・マナアは、ソマリアへの数々の船舶輸送に関与していた。2004年、マナアは、東欧の武器市場からソマリア人兵士に売買されたとされる武器契約に関わった。1992年以降のソマリアに対する国連の武器禁輸措置にもかかわらず、マナアによるソマリアへの武器密輸関与は少なくとも2003年まで遡ることができる。マナアは、2003年、東欧から数千もの武器購入を申し入れ、武器の一部をソマリアで売却する計画を示唆した。

(了)